

(3) 公開講座・体験講座に関するアンケート調査結果

本調査では、京都国際マンガミュージアムの協力を得て、講演会「マンガと国際交流」参加者と、特別展「GUNDAM～来たるべき未来のために」入場者を対象に、今後の公開講座や展示企画への希望を聞くアンケート調査を実施した。

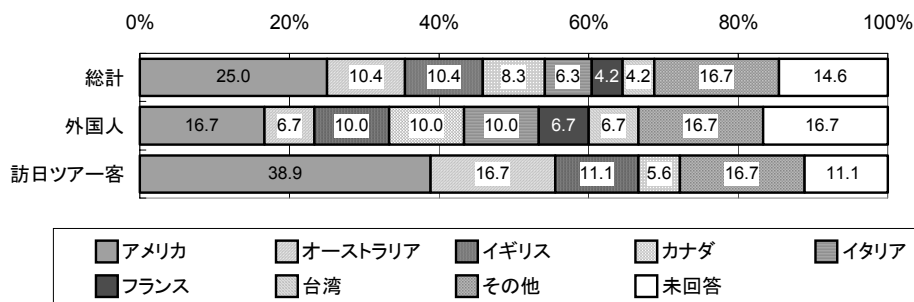
回答者は日本人・外国人とも、比較的マンガ・アニメに関心のある人々と位置付けられる。

外国人は、英語版アンケートの回答者であるため、英語圏に住む人が多い。なお、外国人については、A：一般入館者（京都国際マンガミュージアムに有料で入館し、「ガンダム展」に入場した外国人。30 サンプル）と、B：訪日ツアー客（訪日観光中のオプションツアーで京都を選択後、旅行会社から「ガンダム展」の情報を得て、無料で入館した外国人ツアー客。18 サンプル）の2種類の回答を合算した集計結果となっている。

対象	ちばてつや講演会「マンガと国際交流」の参加者。約 200 人。	「GUNDAM～来たるべき未来のために」入場者	
		日本人	外国人 (英語版アンケートの回答者)
実施日	平成 19 年 1 月 7 日 (日)	平成 19 年 2 月 24 日 (土) ～3 月 5 日 (月)	平成 19 年 2 月 24 日 (火) (ツアー客は 20 日から) ～3 月 11 日 (日)
実施方法	来館者が自ら記入。講演会場入口で手渡し、退館時に回収。	来館者が自ら記入。 入館時に手渡し、所定の場所で回収。	
回収サンプル数	7 8	1 4 0	4 8 A：一般入館者 30 B：訪日ツアー客 18

外国人回答者の居住地

	アメリカ	オーストラリア	イギリス	カナダ	イタリア	フランス	台湾	その他	未回答	計
総計 n=48	12 25.0%	5 10.4%	5 10.4%	4 8.3%	3 6.3%	2 4.2%	2 4.2%	8 16.7%	7 14.6%	48 100.0%
外国人 n=30	5 16.7%	2 6.7%	3 10.0%	3 10.0%	3 10.0%	2 6.7%	2 6.7%	5 16.7%	5 16.7%	30 100.0%
訪日ツアー客 n=18	7 38.9%	3 16.7%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	2 11.1%	18 100.0%



<その他内訳>

アイルランド、スイス、メキシコ、ヨーロッパ、韓国、シンガポール、ニュージーランド、マレーシア

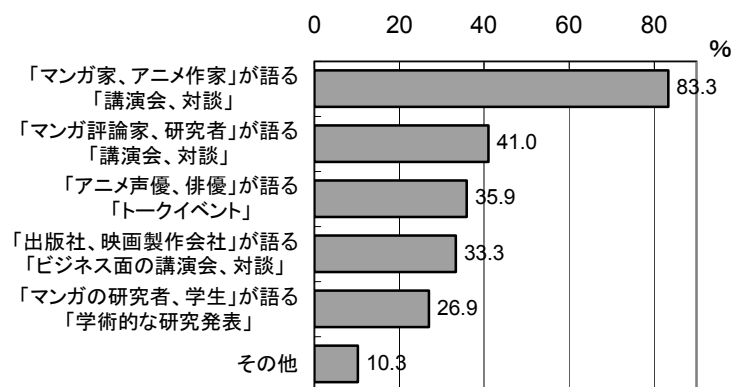
①関心のある講演会

「ちばてつや講演会」参加者の回答をみると、「マンガ家・アニメ作家(83%)」を講師とする講演会への関心が最も高い。以下、「評論家・研究者(41%)」「アニメ声優・俳優(36%)」「出版社・映画製作会社(33%)」の順で続く。

高名なマンガ家の講演会参加者の回答であるため、作家を講師に求める結果になったとも考えられるが、回答者の年齢に偏りがなく、また、80%以上の支持を集めていることから、集客を確保するためには、人気のあるマンガ家・アニメ作家を講師に招くことが基本的な条件であるとうかがい知れる。なお、希望する講師は、第Ⅳ章・来館者アンケート調査結果でみた通りに多岐にわたっている（58 頁参照）。

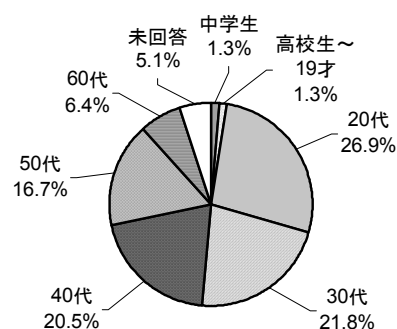
関心のある講演会

(N=78)		
「マンガ家、アニメ作家」が語る「講演会、対談」	65	(83.3%)
「マンガ評論家、研究者」が語る「講演会、対談」	32	(41.0%)
「アニメ声優、俳優」が語る「トークイベント」	28	(35.9%)
「出版社、映画製作会社」が語る「ビジネス面の講演会、対談」	26	(33.3%)
「マンガの研究者、学生」が語る「学術的な研究発表」	21	(26.9%)
その他	8	(10.3%)
計	180	



回答者の年齢

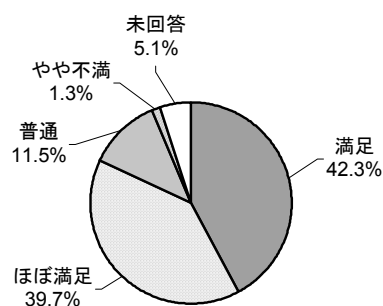
(N=78)		
中学生	1	(1.3%)
高校生～19才	1	(1.3%)
20代	21	(26.9%)
30代	17	(21.8%)
40代	16	(20.5%)
50代	13	(16.7%)
60代	5	(6.4%)
70代以上	0	(0.0%)
未回答	4	(5.1%)
計	78	(100.0%)



「ちばてつや」講演会の感想

(N=78)

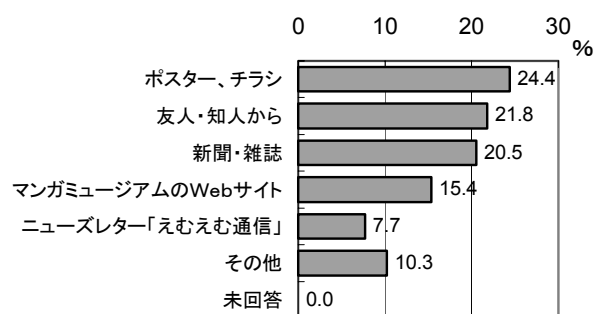
満足	33	(42.3%)
ほぼ満足	31	(39.7%)
普通	9	(11.5%)
やや不満	1	(1.3%)
不満	0	(0.0%)
未回答	4	(5.1%)
計	78	(100.0%)



講演会の認知媒体

(N=78)

ポスター、チラシ	19	(24.4%)
友人・知人から	17	(21.8%)
新聞・雑誌	16	(20.5%)
マンガミュージアムのWebサイト	12	(15.4%)
ニューズレター「えむえむ通信」	6	(7.7%)
その他	8	(10.3%)
未回答	0	(0.0%)
計	78	(100.0%)



<新聞・雑誌名内訳>

京都新聞	7
朝日新聞	4
リビング京都	2
毎日新聞	1

<その他内訳>

来館して	5
------	---

②関心のある企画展

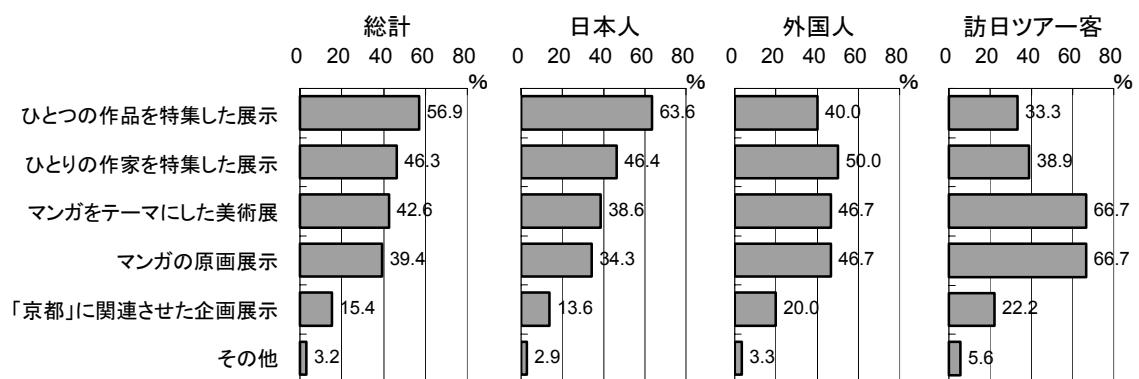
「ガンダム展」入場者の回答から、関心のある企画展についてみると、日本人では「ひとつの作品特集（64%）」「ひとりの作家特集（46%）」の展示への関心が高い。

一方、外国人、特に訪日ツアー客は「マンガの原画展示（外国人平均 54%）」「マンガをテーマにした美術展（同 54%）」への関心が、作家や作品の特集展示を上回っており、特定の作品世界を知らない観光客でも立ち寄りやすく、楽しめる展示が望まれていると推察される。

「京都関連の企画展示」に関心を持つ外国人は 21% (平均) となっている。

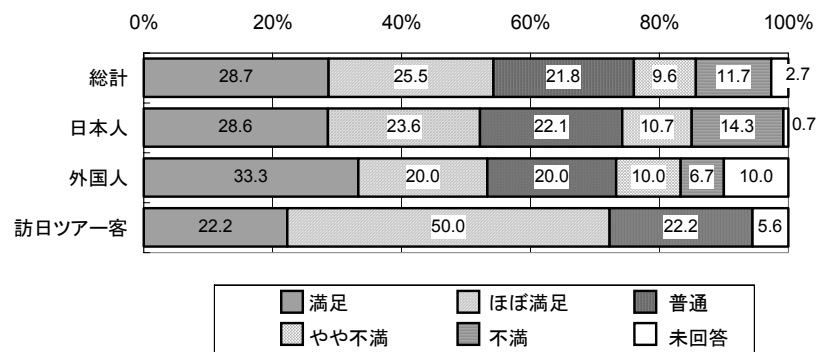
関心のある企画展

	ひとつの作品を特集した展示	ひとりの作家を特集した展示	マンガをテーマにした美術展	マンガの原画展示	「京都」に関連させた企画展示	その他	計
総計 n=188	107 56.9%	87 46.3%	80 42.6%	74 39.4%	29 15.4%	6 3.2%	383
日本人 n=140	89 63.6%	65 46.4%	54 38.6%	48 34.3%	19 13.6%	4 2.9%	279
外国人 n=30	12 40.0%	15 50.0%	14 46.7%	14 46.7%	6 20.0%	1 3.3%	62
訪日ツアー客 n=18	6 33.3%	7 38.9%	12 66.7%	12 66.7%	4 22.2%	1 5.6%	42



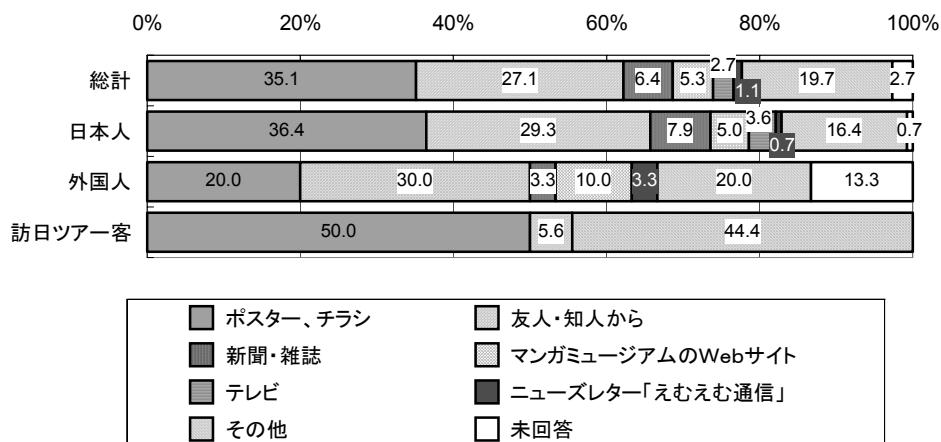
「ガンダム展」の感想

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未回答	計
総計 n=188	54 28.7%	48 25.5%	41 21.8%	18 9.6%	22 11.7%	5 2.7%	188 100.0%
日本人 n=140	40 28.6%	33 23.6%	31 22.1%	15 10.7%	20 14.3%	1 0.7%	140 100.0%
外国人 n=30	10 33.3%	6 20.0%	6 20.0%	3 10.0%	2 6.7%	3 10.0%	30 100.0%
訪日ツアー客 n=18	4 22.2%	9 50.0%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%



「ガンダム展」の認知媒体

	ポスター、チラシ	友人・知人から	新聞・雑誌	マンガミュージアムのWebサイト	テレビ	ニューズレター「えむえむ通信」	その他	未回答	計
総計 n=188	66 35.1%	51 27.1%	12 6.4%	10 5.3%	5 2.7%	2 1.1%	37 19.7%	5 2.7%	188 100.0%
日本人 n=140	51 36.4%	41 29.3%	11 7.9%	7 5.0%	5 3.6%	1 0.7%	23 16.4%	1 0.7%	140 100.0%
外国人 n=30	6 20.0%	9 30.0%	1 3.3%	3 10.0%	0 0.0%	1 3.3%	6 20.0%	4 13.3%	30 100.0%
訪日ツアー客 n=18	9 50.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 44.4%	0 0.0%	18 100.0%



※訪日ツアー客の「チラシ」「その他」は、旅行会社からの案内チラシ及び情報提供。

③関心のある体験講座

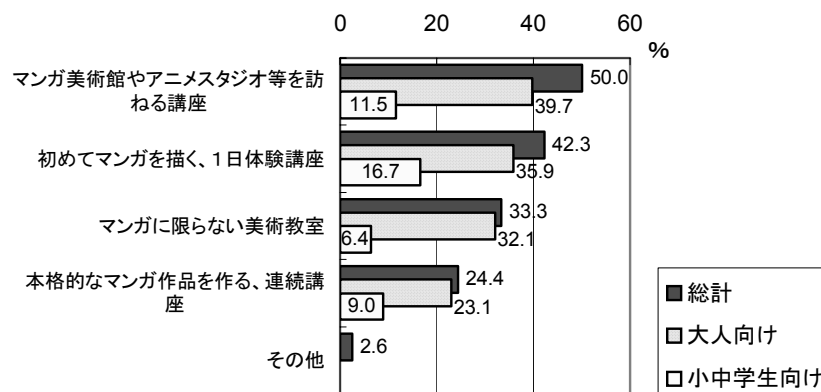
「ちばてつや講演会」参加者の回答をみると、関心があるものは「マンガ美術館やアニメスタジオ等を訪ねる講座(50%)」「はじめてのマンガ1日体験教室(42%)」となっており、後者については、小中学生向け講座の開催希望がみられる。

「ガンダム展」入場者の回答をみると、日本人は「マンガ美術館やアニメスタジオ等を訪ねる講座(48%)」、外国人は「はじめてのマンガ1日体験教室(外国人平均48%)」への関心がそれぞれ最も多い。

マンガ・アニメファンの日本人は、京都国際マンガミュージアム以外の関連施設への訪問意向があり、一方、外国人は、同ミュージアム館内で充実した時間を過ごすためのプログラムを求めている。

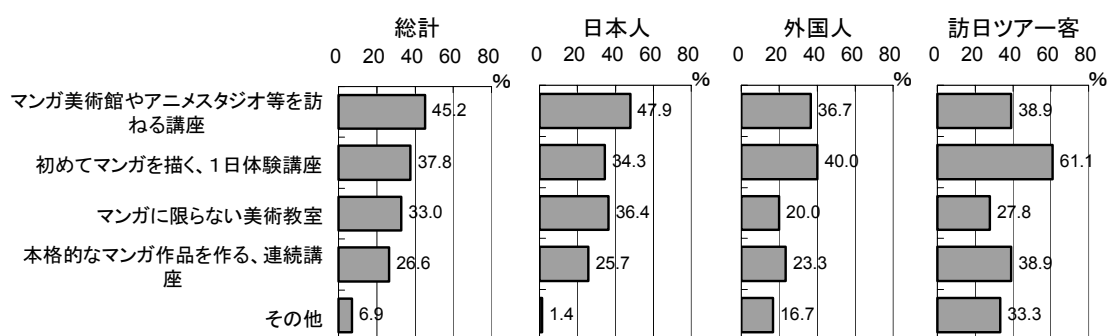
関心のある体験講座 「ちばてつや講演会」参加者

	総計		大人向け		小中学生向け	
マンガ美術館やアニメスタジオ等を訪ねる講座	39	(50.0%)	31	(39.7%)	9	(11.5%)
初めてマンガを描く、1日体験講座	33	(42.3%)	28	(35.9%)	13	(16.7%)
マンガに限らない美術教室	26	(33.3%)	25	(32.1%)	5	(6.4%)
本格的なマンガ作品を作る、連続講座	19	(24.4%)	18	(23.1%)	7	(9.0%)
その他	2	(2.6%)				
計	119		102		34	



関心のある体験講座 「ガンダム展」入場者

	マンガ美術館やアニメスタジオ等を訪ねる講座	初めてマンガを描く、1日体験講座	マンガに限らない美術教室	本格的なマンガ作品を作る、連続講座	その他	計
総計 n=188	85 45.2%	71 37.8%	62 33.0%	50 26.6%	13 6.9%	281
日本人 n=140	67 47.9%	48 34.3%	51 36.4%	36 25.7%	2 1.4%	204
外国人 n=30	11 36.7%	12 40.0%	6 20.0%	7 23.3%	5 16.7%	41
訪日ツアー客 n=18	7 38.9%	11 61.1%	5 27.8%	7 38.9%	6 33.3%	36



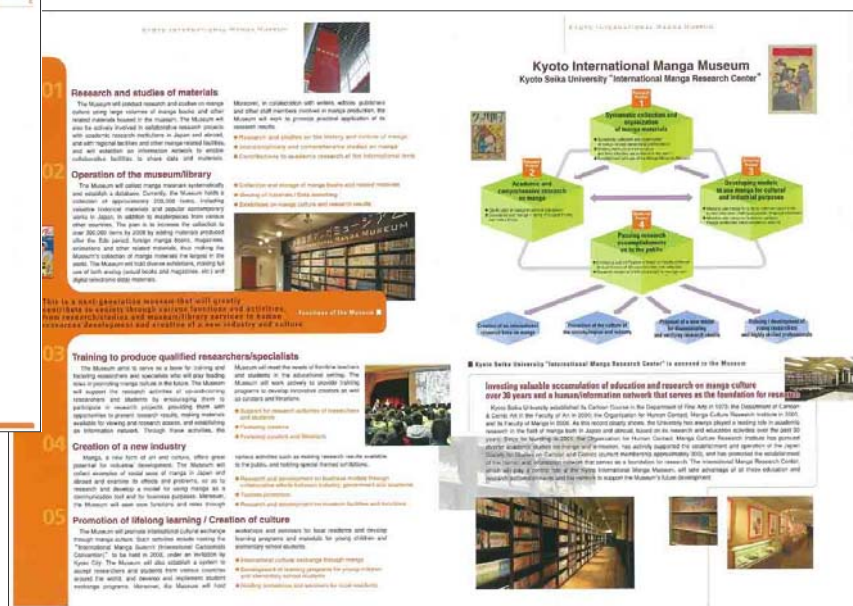
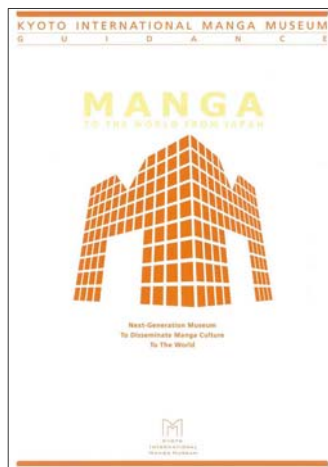
2. 訪日外国人を対象とするPR

(1) 京都国際マンガミュージアム パンフレット等の多言語化

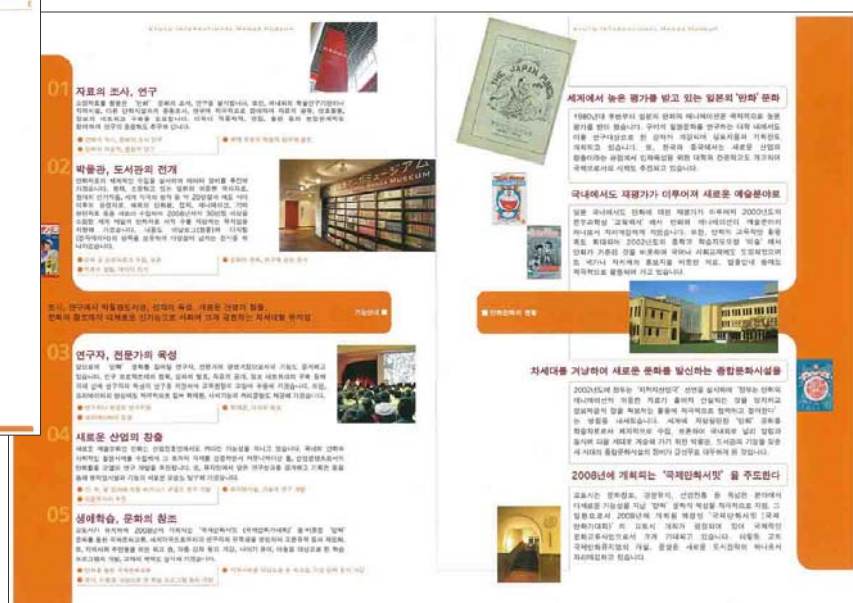
京都国際マンガミュージアムの設立目的等を解説するパンフレットについて、英語・韓国語・中国語簡体字への翻訳を行った。

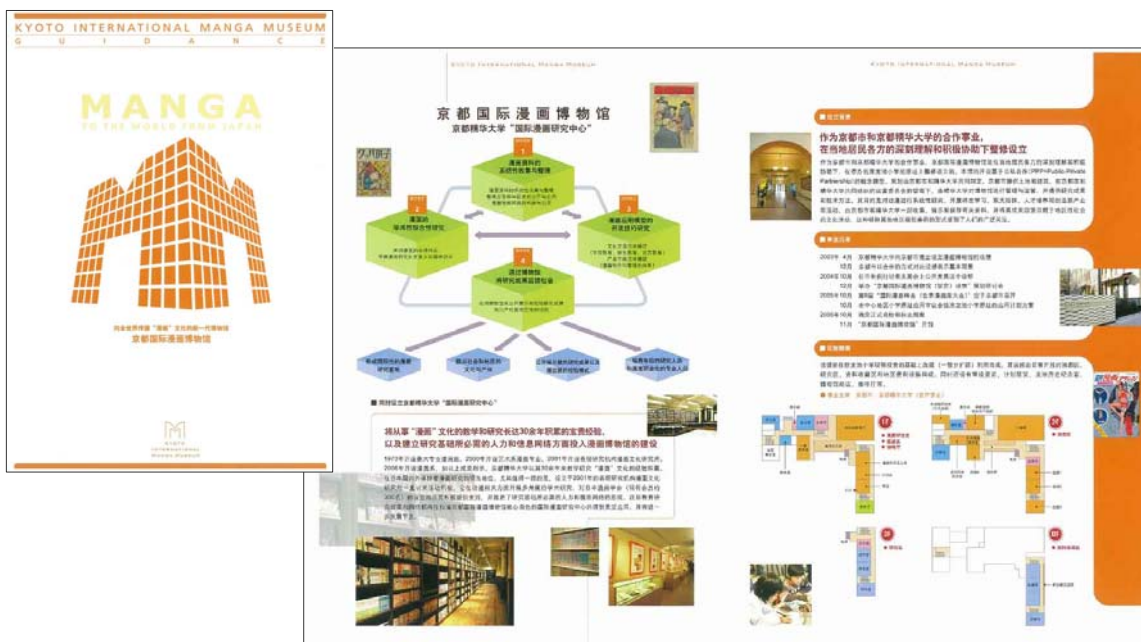
各国語のパンフレットは、今後、京都国際マンガミュージアムが行なう海外向け広報活動で利用されるほか、外国のマスコミ、研究機関がミュージアムを訪れる時に配布される予定である。

パンフレット 英語



パンフレット 韓国語



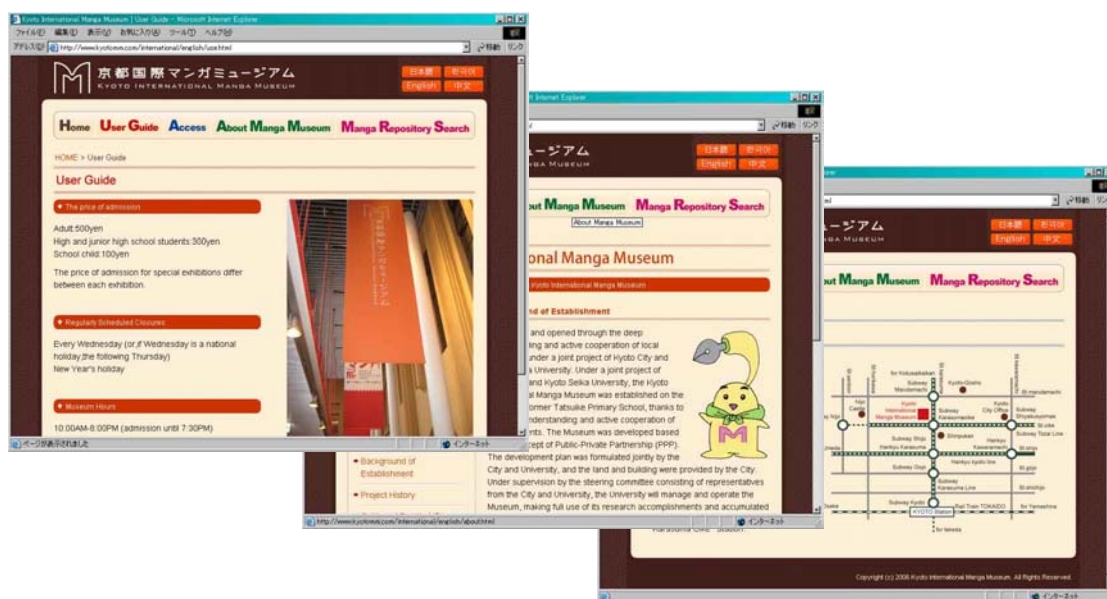


(2) 京都国際マンガミュージアムホームページの多言語化

京都国際マンガミュージアムのホームページについて、英語・韓国語・中国語簡体字への翻訳を行った。

各国語のホームページは、開館後に順次公開され、平成 19 年 2 月末までのページビューは日本語版 650,003、英語版 18,853、韓国語版 139、中国語版 334 となっている。

ホームページ 英語



ホームページ 韓国語



ホームページ 中国語簡体字



3. マンガまち歩きガイドマップの制作

京都国際マンガミュージアム周辺(徒歩圏)をマンガ家取材し、まち歩きの楽しさを高める観光施設、店舗、歴史的文化財等を描き起こして原画を制作した。これを、英語・韓国語・中国語簡体字及び繁体字に翻訳し、日本語を含む5ヶ国語版のガイドマップを制作した。

留学生のモニターに各国版を試用してもらい、意見を聞き、本調査期間中に対応可能な点については改善した。

実施日	平成19年2月13日(火)
留学生モニター	英語版2人、韓国語版3人、中国・簡体字版4人、中国・繁体字版2人。
試用方法	午前：マップ試用、午後：意見聴取 ○オリエンテーション後、ガイドマップの言語別に4チームに分かれ、マップを利用しながら京都国際マンガミュージアム界隈を廻る。 ○あらかじめ8ヶ所のチェック地点を設定し、その場所を必ず通る。 ○チェック地点以外は自由に歩き、面白いと思う観光資源を探す。

聴取した主な意見を取りまとめると、以下の通りである。

①マップの翻訳文と表現方法について

- 店名は翻訳せずにそのまま記載するほうがよい(特に簡体字の地図)。
- 地図上の印は、店などの種類別に色を変えてほしい。
- 地図上には番号だけをつけ、店名などは別に一覧を付けるのがよい。
- 絵のタッチに京都らしさがほしい。

②マップに掲載すべき観光資源

- 日本らしさ、京都の伝統を感じさせる店舗、建物
例えば、陶器店、刀の店、手拭いの店・ギャラリー、和菓子の店、活け花のある店、京町家、レンガ造りなど近代に建てられた建物
- お洒落で現代的な店舗、建築物
例えば、家具店、雑貨店、アクセサリー店
- 和食の店
 - ・京都に来た訪日客は、和食に関心を持つと思う。
 - ・母国から来日した人を案内するとき、日本らしさ、京都らしさのある飲食店の情報は必要だ。

続く

続き

○地域の歴史解説や、店舗・建物の解説

文字で解説が書き添えてあると、訪日客の理解を助ける。案内する外国人にとっても、解説のポイントが書いてあれば便利である。

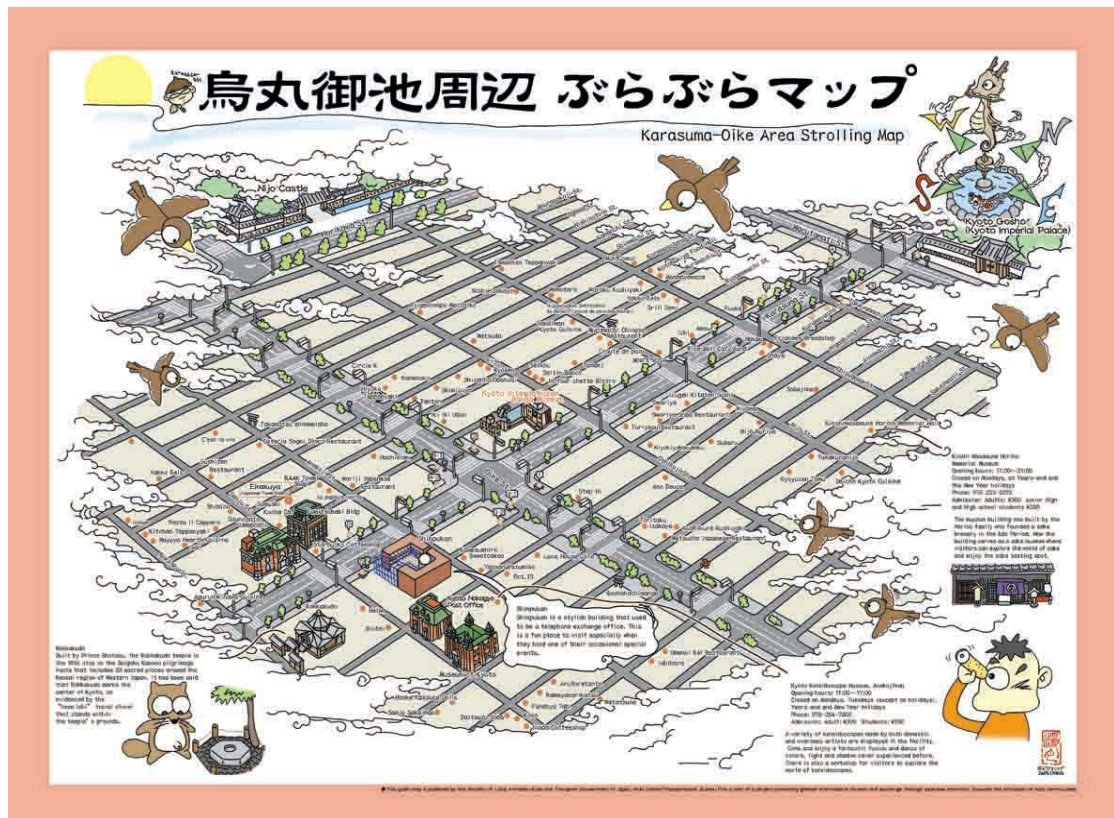
○ランドマークとなる店舗

紹介する観光地や店舗の他に、ランドマークとしての店舗を掲載すべきだ。
ホテル、コンビニ、銀行、洋書店、カメラ店、公衆トイレ等の掲載が望ましい。

ディスカッションの様子



マンガまち歩きガイドマップ 英語



マンガまち歩きガイドマップ 韓国語





ガイドマップの他に、京都市バスの乗り方、茶道の席での薄茶の飲み方、神社の参拝手順を外国人に対して解説する３種類の図解マンガ（英語版）を試作した。

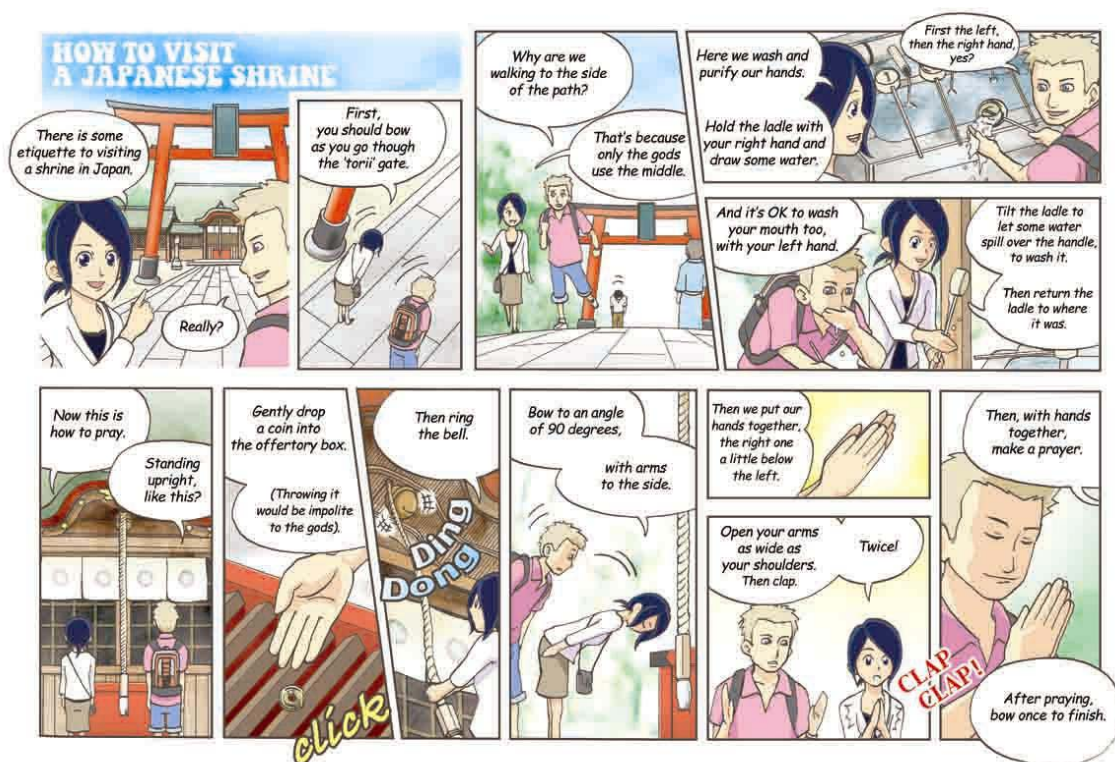
図解マンガ ～市バスの乗り方編～



図解マンガ ～薄茶の飲み方編～



図解マンガ ～神社の参拝手順編～



4. 外国人を対象とする京都マンガツアーの試行

(1) 留学生をモニターとする1日ツアー その1

～ マップ試用と体験講座試行を主とするツアー ～

留学生をモニターとし、「マンガまち歩きガイドマップ」の試用と、「マンガ家アシスタント体験講座」の試行を目的に、京都国際マンガミュージアム周囲を徒歩で巡る1日ツアーを実施した。午後は、同ミュージアム内で、館内見学、体験講座を行った。

実施日	平成19年2月13日（火）
留学生モニター	中国4人、台湾2人、韓国3人、欧米2人。
実施内容	午前：「マンガまち歩きガイドマップ」の試用。 京都国際マンガミュージアム周辺を歩き、マップの使いやすさ、改善点を整理する。あわせて、ミュージアム周辺の観光資源を再発見する。
	午後：「マンガ家アシスタント体験講座」の試行。 マンガ実作経験あり・なしの立場から、今後の講座開発及びミュージアムへの誘客につながる意見・感想を得る。
	京都国際マンガミュージアムにて、モニター全員によるディスカッション及びアンケート用紙記入により、意見を聴取する。

内容については、前項1「公開講座・体験講座の実施」、前項3「マンガまち歩きガイドマップの制作」のとりまとめ参照。

(2) 留学生をモニターとする1日ツアー その2

～ 京都のマンガ的表現を見学するツアー ～

留学生をモニターとし、京都国際マンガミュージアム周辺で「マンガ的表現」が観られる「京都文化博物館」「町家手拭ギャラリー」「二条城 二の丸御殿」、及びＪＲ京都駅構内にある「ＫＹＯＴＯ手塚治虫ワールド」を、解説者付きで巡る１日ツアーを実施した。

ツアーの最後に、マンガミュージアムの体験メニューを活用して、感想を１コマのマンガで表現してもらった。描画が苦手な人は、文字でセリフを表現した。

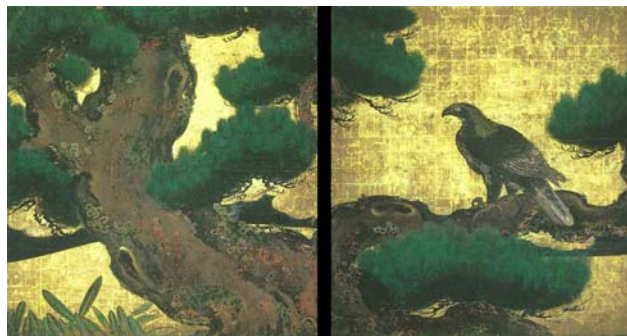
実施日	平成 19 年 3 月 8 日（木）	
留学生モニター	中国 4 人、台湾 1 人、韓国 2 人	
解説者	宮田英喜 委員（京都検討委員会委員、京都市教育委員会）	
行程	9：30	J R 京都駅集合、オリエンテーション
	10：00～11：00	①ＫＹＯＴＯ手塚治虫ワールド アニメシアターほか見学
	11：15～	「洛バス 101」にて二条城前へ移動
	11：45～13：00	神泉苑見学 及び 苑内の料理店で和食の昼食
	13：15～14：00	②二条城 二の丸御殿 二の丸御殿、展示・収蔵館にて障壁画を鑑賞
	14：30～14：50	③町家手拭ギャラリー 明治から昭和初期に作られた手拭を見学
	15：00～15：45	④京都文化博物館 京都の歴史展示（模型など）を見学
	16：00～17：30	京都国際マンガミュージアムにて、ディスカッション。 1 コママンガで感想を表現

ＫＹＯＴＯ手塚治虫ワールド
〔アニメシアター〕 〔ショップ〕



資料：ＫＹＯＴＯ手塚治虫ワールドＨＰ、案内チラシ

二条城 二の丸御殿障壁画「松鷹図」

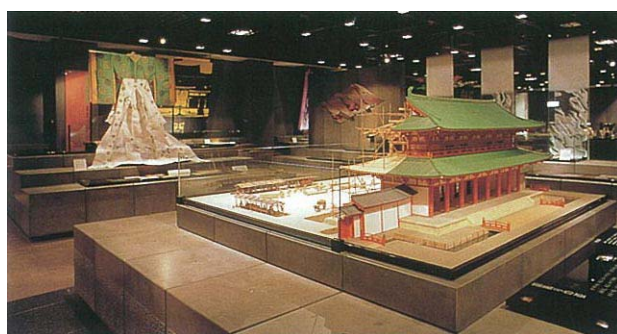


資料：二条城 展示・収蔵館パンフレット

町家手拭ギャラリー
(永楽屋細辻伊兵衛商店 2 階)



京都文化博物館の歴史展示室



資料：京都文化博物館パンフレット

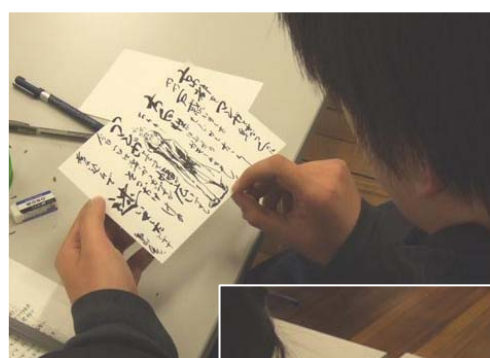
ツアー風景：神泉苑



ツアー風景：二条城周辺



最後に 1 コママンガで感想を発表



ツアー後のディスカッションで得られた主な意見をとりとまとめると、以下の通りである。

①マンガを通じた京都観光について

ツアー内容については、「マンガとの繋がりを発見できる」「日本文化に興味を持つきっかけとなる」等の肯定的な意見を得た。一方で、「京都観光の主流にはなりにくい」等、マンガを通じた京都観光への戸惑いもみられた。

○ツアー内容とマンガ

- ・二条城の障壁画や、明治・大正時代の手拭を観て、これらの画風、構成、作者の想像力等にマンガとのつながりを発見した。
- ・京都のなかに隠れたマンガを観ることができた。
- ・手拭のデザインには、京都の生活そのものが描かれている。生活の一部を垣間見たような印象を受けた。
- ・京都観光の主流にはなりにくい。
- ・考え次第でマンガとの結びつきは発見できるが、マンガというテーマ無しでも充分に楽しめるツアー内容だった。

○今後のマンガを通じた観光については、マンガ、京都、観光の組み合わせ方をさらに検討し、観光客向けにわかりやすく伝える方法やツアーの開発が必要だ。

②ツアーの感想を1コママンガで表現する体験について

感想の表現方法として肯定的な認識を得たが、絵を描くことが好きな人に限られるとの意見が出された。なお、検討委員会では、今後の発展形について、主に教育旅行を対象に「4コママンガ作りに挑戦する」「紙芝居形式で発表する」等の意見が出されている。

○マンガ実作経験がある留学生（3人）

- ・とても面白い（リラックスして描いた留学生）。
- ・難しい。どの程度の絵を描くべきか迷う（一定レベル以上の「作品」制作を意識した留学生）。

○マンガ実作経験の無い留学生（4人）

- ・絵を描ける人ならば、面白いかもしれない。
- ・感想の表現方法としては、興味深い方法だ。
- ・訪問地で感じた歴史や文化から想像して物語を作ることも考えられる。

③その他

同行した解説者の解説・案内については、「やさしい言葉で、大変わかりやすい」「京都の歴史について、様々なことを楽しく学べた」と高い評価を得た。また、「本日の行程を外国人に提供する場合は、ガイドが不可欠」との意見が出された。

昼食については、庭園を眺めながら和食（懐石料理）を食べることで、「京都らしさ・日本文化を味わえた」と好評であった。